

茂原市ボランティアセンター (茂原市社会福祉協議会)との連携

H29.10.18

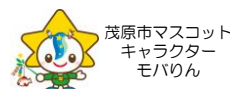
市民活動支援センターのあり方検討委員会

第2回検討委員会WSより

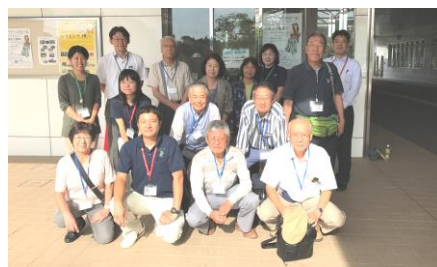
- 相談に対応する方が、否定することなく、「素晴らしい取り組みですね」という考え方が、対応のベースになっていたことが良かった
- 相談していく中で、取り組み方の方向性を、多少なりとも具体的に、対話により進められたことが良かった
- 相談を受ける人が、そこまで知識が必要なのか。実際には、一部の範囲については深く知っていても、他の分野についてはほとんど知らないか、ごく普通の知識しか持っていない場合が多いと思う。名回答を求めるのは無理だと思う
- 対応者が、相談者を受容し、どこが問題点なのか、解決の手立てを示してあげているところが良い。
- 相談者の心情的な面も含めて、よく話を聞いてあげて、端的に回答するのではなく、本当に役立つ情報を出せるまで咀嚼した姿勢が良かった



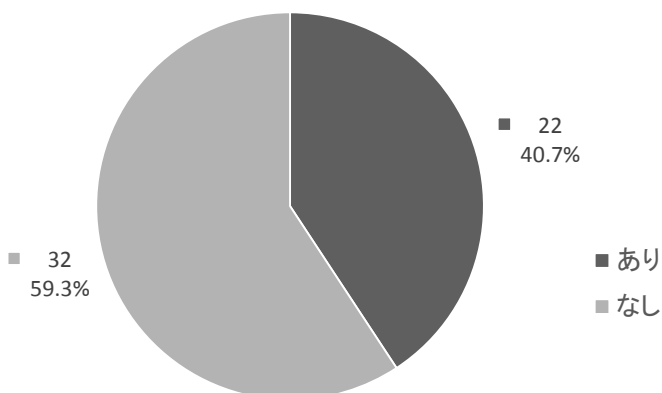
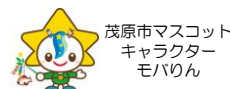
第3回検討委員会（視察）より



- 伺ったどちらの自治体（四街道市・富里市）も、市民活動支援センターとボランティアセンターが、関わる場所は関わって、そうでないところはそれぞれが取り組めばいいのではないかと話をされていて、大変参考になった
- 住民ニーズをいかにして行政が捉えるか、そして一緒に行動していくのかという住民目線で、両市に質問した。茂原市の場合も、どこに視点を置くかをはっきりさせてから、今後の議論に入ったほうがいいのではないかと感じた
- ボランティアの皆さんが、場づくりに苦勞しているという話を耳にする。そのような人たちの起点となるようなセンターがあれば、ボランティアがますます活躍できるようになると思う

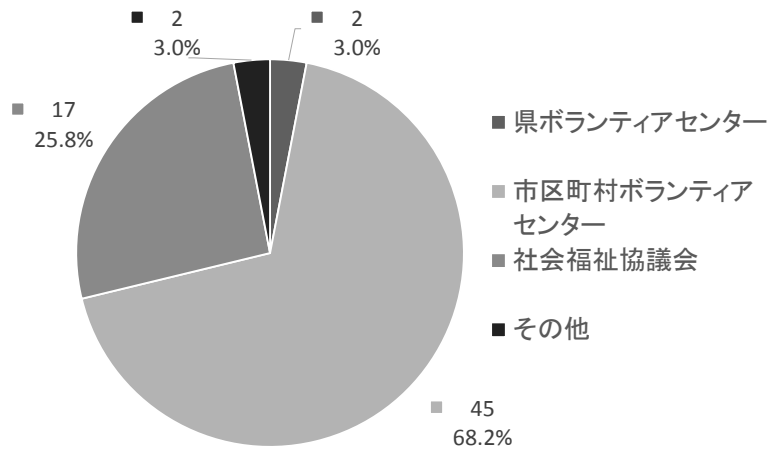


県内の市民活動支援センターの設置状況



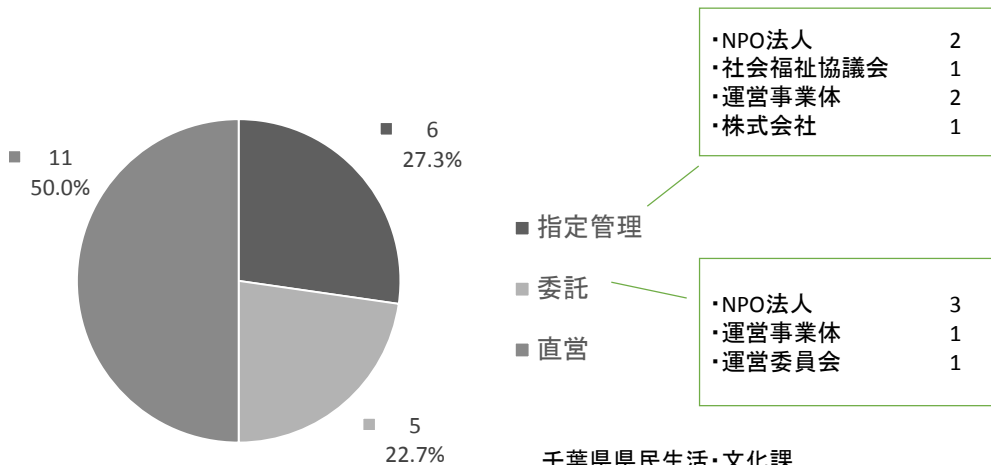
千葉県県民生活・文化課
「平成28年度市民活動支援センター状況調査」より抜粋

県内のボランティアセンターの設置状況



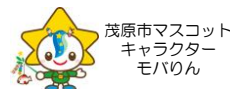
千葉県県民生活・文化課ウェブサイトより

県内の市民活動支援センターの運用形態



千葉県県民生活・文化課「平成28年度市民活動支援センター状況調査」より抜粋

第2回検討委員会WSより

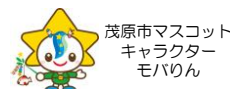


シナリオづくりワークショップ(相談・対応)

- 市民活動団体が毎年集まってフェスティバルを開催する
- まちづくりフェアの開催
- まちを知るための(仮)「市民塾」の定期開催
- 活動している団体に相談者を求めに応じて紹介する
- 市民活動団体まつりで各ブースに宣伝する場をつくる

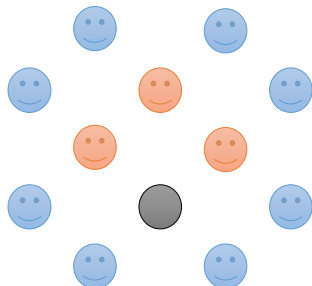


ワークショップ



(仮称)市民活動フェスタ/まちづくりフェア・市民活動支援センター1dayオープン 仮想企画会議

- イベント名称
- 日時・場所
- 運営主体
- 事業費
- 実施内容
- 創意工夫
- その他



<フィッシュボウル(Fishbowl)>

1. 最初に対話する人が内側の円(フィッシュボウル)に着席します
2. 外側の人たちは、対話の要点や気づきなどをメモ用紙に書いていきます
3. フィッシュボウルの空席には、外側で話を聞いていて、誰か話したくなった人が挙手し、フィッシュボウルのメンバーが全員手を挙げたら、中に入ることができます。または、内側の人たちが、この人の話を聞きたいという外側の人を指名することもできます。
4. 外側から加わった人が話し終えたら、再びフィッシュボウルの外に戻ります
5. 規定時間が経過したら、ベルが鳴りますので、一斉にメンバーを入れ替えます
6. 全てのセッションが終了したら、隣席の人と聴いたこと、感じたことを交換し合います

フィッシュボウル

別の話題に
及んでもOKです



セッション	内側 	外側 	主な話題 
1回目	高久委員 川島委員 北野委員	その他の委員 オブザーバー 事務局	場所 運営主体
2回目	経塚委員 河野委員 塚崎委員	その他の委員 オブザーバー 事務局	事業費 実施内容 創意工夫
3回目	松永委員 丸嶋委員 伊藤委員	その他の委員 オブザーバー 事務局	イベント名称 日時 まとめ
ふりかえり	隣席の方と		

